

前月比	(-93)
人口	74,458
男	35,607
女	38,851
世帯数	19,966 (-14)

# おおだて

4月号 (No. 201)

編集と発行 — 大館市役所  
(電話) 2-1212  
発行年月日 — 昭和49年4月1日  
発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布  
しています。届かなかったり、配布が遅い  
ときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

## 各会計総額

# 69億7,311万の予算決まる

新年度の予算などを決める大館市定例市議会は、3月11日に招集され提案された49年度の各会計の予算案；市役所の課および室設置条例の一部を改正する条例案など59件に及び議案を審議し、3月24日会期を1日延長し、提案された議案を可決して、14日間にわたる日程を終えました。

48年度一般会計補正予算には、3億2,608万5,000円が追加され、補正後の予算には総額は歳入歳出とも、44億993万4,000円になりました。

補正の主なものとしては、広域営農団地施設整備事業や集落農場化機械導入費の補助、さらに、除雪費用と融雪時の路面補修材料などの豪雪対策費の不足分。そして、南小学校の用地取得 (1万坪, 3,480万円) などです。

なお、新年度予算からみた今年の事業などについては、2・3面に具体的に掲載してありますので、よくご覧いただき、住民福祉を主眼とする新年度事業にご理解とご協力を得たいと思います

3月定例市議会が招集された3月22日、議案説明に先立ち、石川市長から当面する市政問題の報告を行ないましたので、その内容を市民の皆さんにお伝えします。

当面する市政に関係のある国、県の事業についてご報告申し上げます。

### ●国の事業

まず、国の直轄事業では、市がかねてから地域の皆さんとともに強力な運動を展開していた市道米代川北線は「国道103号線のバイパス」として採択され、東北縦貫道の鹿角市松木インターチェンジに連結されることができ、建設省直轄改良工事として、49年度から、着工されることになりました (全国では唯一の新規道路事業として認定される)

また、国道7号線の餅田橋より川口間の歩道設置ならびに餅田橋の補強に約9,000万円の国の予算獲得が見込まれたという朗報も得ております。

### ●県事業

次に県事業関係ですが、大館、小坂のうち、御成町と長木地区を結ぶバイパスは、鉱石運搬や事故防止の面からも急務を痛感し、道路改良事業の早期着工を県に要請していましたが、これも49年度から着工するということが承っております。

また、砂防関係では、小雪沢と長木沢の2カ所の事業がきまり、小雪沢の事業費は3,400万円、長木沢2,000万円の予算のもとに2カ年継続事業としてすすめられることになりました。

改修工事関係では、大森川の用地先行取得として、300万円、引欠川改修に6,000万円それぞれ予算が計上されたこと承っております。

さらに、かねてから関係者とともに、働きながら勉学に励んでいる定時制課程の高校生のために、独立校舎の建設をすすめてきましたところ、ようやくその実を結び、49年度から、工業高校と南高校の両定時制が名目統合し、名称も「東高校」と改め、50年度から校舎の設置を図ろうという内報があり、関係者とともにこの運動の成果を喜ぶとともに、生徒諸君のため、1日も早く、立派な校舎を建築していただくよう、さらに、運動をすすめて参りたいと考えています。

農政部関係では、老朽溜池事業として別所地区に3,230万円、鮎釣地区に8,350万円の予算がついたと聞いております。

また、中山地区灌漑排水施設整備には5,380万円計上されるなど、これら一連の予算計上は、地域の農業振興に大きな福音をもたらすものであり、真にご同慶にたえない次第であります。

### ●水道、病院会計の

#### 再建債解消を喜ぶ

新年度の投資的業務については、2面をご覧くださいことにして、この際、とくに、つぎの2点について報告いたします。

昭和41年度以降、市政財政に大きな負担となっていた水道事業と病院事業会計は、ともに、ばく大な不良債務を抱え、再建整備法の適用を受けるといって極めて不名誉な事態となり、再建計画を忠実に遂行しなければならぬという至上命令的制約に縛られながらも水道会計では、8カ年で再建債元本9,855万3,000円を返済のため、一般会計から繰入額総計1億970万1,000円を投入して、48年度でようやく解消を成し遂げることができました。

また、市立総合病院の場合は日本一の不良債務を持つ病院として自治省省議にはかられる事態となり、赤字総額は、3億9,206万3,000円という、当時病院再建では最大のものとなり、期間も9カ

年で、これを解消しなければならぬため再建団体に定指され、法を適用受けました。

このこととの関連で、42年2月には病院職員43人の行政整理を行うという非常の事態があったことは、忘れ得ぬところであります。

この再建も、49年度をもって解消になるわけですが、この間、一般会計よりの繰入総額は8億2,827万2,000円におよびます。

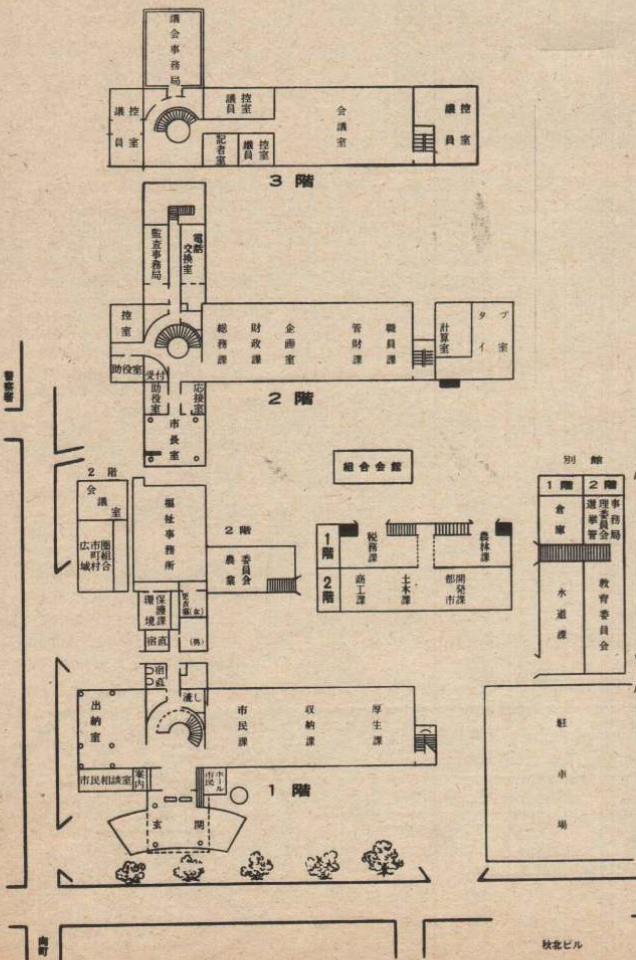
この解消は、願ひて真に感慨無量なるものがありますとともに、関係者の努力に対して深く敬意を表したいと思ひます。私は、再びこのような事態を惹起せぬよう、一層の努力を傾注し、地域住民の健康保持のため、崇高なる使命感と、企業としての健全経営にも万全を期し、地域の皆さんの負託に応えたいと思ひます。



## 市政報告

## 福祉事務所を消防署跡に配置

消防署が移転するのに伴って、4月1日から市役所内の配置が下図のように変更になりましたのでお知らせします。



予算内容は2・3ページに